



# しべつ

# 議会だより

12月定例会

第197号

令和8年2月1日

## 目次

|                  |       |
|------------------|-------|
| 第4回定例会報告         | 2~3   |
| 町政のそこが聞きたい       | 4     |
| 一般質問             | 5~9   |
| 常任委員会の動き         | 10~11 |
| 議員研修会            | 12    |
| 林活研修会・中標津合同庁舎内覧会 | 13    |
| 標津文教施設等整備の検討     | 14    |
| 議会の動向            | 15    |
| 寄稿               | 16    |



▲オールディーズナンバーを披露する『ザ・ミストーンズ』のメンバー

## オールディーズナイト2025 in 川北

◆11月8日(土)、川北生涯学習センターの「川北文化祭」の協賛事業として、「オールディーズナイト2025in川北」が開催されました。115名の来場者が「食べて、飲んで、聴いて、踊る」楽しい土曜日の夜の2時間を堪能しました。  
 【出演者】[オールディーズバンド] ザ・ミストーンズ(釧路)  
 【ゲスト】[クラリネット] 山本祐一氏・[レディースバンド] リバーノース(共に川北)

発行／北海道標津町議会

編集／広報特別委員会

# 令和7年 第4回 定例会(12月15日)

審議内容を報告します



条例制定や補正予算案など  
が審議された第4回定例会

## 行政報告(町長)

### ▽基幹産業の状況

#### 酪農業

生乳の生産は、令和7年4月から11月までの8カ月間では、対前年比96・4%の73180トンで推移。本年度は11万1800トンを見込んでおり、今後の推移を注視していく。

9月末現在の農業生産額は、乳用牛・肉用牛の個体販売価格で前年比2億6900万円の増加となっており、

個体価格や乳価の値上がりもあり、対前年比106・5%の71億6200万円で推移している。

移し、種卵を移入しながら、計画の50%強までの種卵は確保できる見通しだが、未来のサケ資源への不安を一層高める状況となつた。

#### 水産業

秋サケ漁は、小定置を含めた数量は対前年比16%の10万9352尾の284トン、金額は同比26%の4億5700万円と千トンにも満たない未曾有の災害級の大不漁の中終わり、全道的な不漁であった。

また、本町を含む根室北部の親魚捕獲状況は、対計画比34%で推

がりもあり、対前年比106・5%の71億6200万円で推移している。

ホタテ漁は、年間計画数量4200トンに対して12月8日時点での累計数量は3640トントン、金額は23億1447万円と令和3年の19億1223万円(8412トン)を抜き、過去最高の生産高を更新している。

いた。

新理事長が正式に就任後、令和8年の早い時期に表敬訪問し、本町の安定的な医療提供体制の維持・強化のため、引き続き連携強化をいただけるようお願いしていく。

## 常任委員長報告

令和7年委員会の開催状況等の活動を報告。主なものは次の通り

### 〈総務経済〉

1月: 標津町のヒグマ状況  
3月: 金山スキー場の現状と課題、サーモン・ラザの決算

6月: 標津町のヒグマ状況  
・金山スキー場の現状と課題、サーモン・ラザの決算

6月: 標津町のヒグマ状況  
・ふるさと納税の実績と今年度の取り組み

7月: 一般質問の検証(住民にやさしい役場)とフオローさせていた  
だく」旨の話をいただ

強化  
▽久留米大学との連携  
令和7年12月末日をもって学校法人久留米大学永田見生理事長の勇退にあたり、表敬訪問した際に永田理事長と懇談した中で「標準病院のことは久留米大として今後もしっかりとフォローさせていただく」旨の話をいただ

8月：  
含

- ・林業口ボット開発の進捗状況

9月：  
・中標津町畜産食品セ

ンター視察

10月：  
・地震津波に関する協

議  
11月：  
・町内8カ所の緊急避

難場所視察（文教福

祉建設常任委員会と

合同）

（文教福祉建設）

1月：  
・標準高校への支援対

策等、公営住宅の今

後の使用方法

3月：  
・ひまわり温泉の利用

と施設維持管理の状

況、除排雪経費の執

行状況

・地域包括ケアシステ

ムの7構築に向けた

## 条例制定

▽職員の給与に関する

条例の一部を改正す

る条例制定

人事院勧告に準じる

改正

・学校給食センター視

察

改正

・冬の生活支援特別対

策（灯油価格高騰に

よる低所得世帯の負

担増を軽減するため、

冬期間の暖房用燃料

購入費の一部を助成。

対象見込み340世

帯、1世帯1万円の

商品券支給）

▽標津町後期高齢者医

療特別会計

会計

勘定）

計

▽標津町下水道事業会

会計

勘定）

△標津町簡易水道事業

会計

勘定）

△標津町畜産食品セ

ンター視察

勘定）

△標準高校への支援対

策（公営住宅の今

後の使用方法）

改正

・ひまわり温泉の利用

と施設維持管理の状

況、除排雪経費の執

行状況）

8月：

・地域包括ケアシステ

ムの7構築に向けた

8月：  
含

- ・林業口ボット開発の進捗状況

9月：  
・中標津町畜産食品セ

ンター視察

10月：  
・地震津波に関する協

議  
11月：  
・町内8カ所の緊急避

難場所視察（文教福

祉建設常任委員会と

合同）

（文教福祉建設）

1月：  
・標準高校への支援対

策等、公営住宅の今

後の使用方法

3月：  
・ひまわり温泉の利用

と施設維持管理の状

況、除排雪経費の執

行状況）

・地域包括ケアシステ

ムの7構築に向けた

8月：  
含

- ・林業口ボット開発の進捗状況

9月：  
・中標津町畜産食品セ

ンター視察

10月：  
・地震津波に関する協

議  
11月：  
・町内8カ所の緊急避

難場所視察（文教福

祉建設常任委員会と

合同）

（文教福祉建設）

1月：  
・標準高校への支援対

策等、公営住宅の今

後の使用方法

3月：  
・ひまわり温泉の利用

と施設維持管理の状

況、除排雪経費の執

行状況）

・地域包括ケアシステ

ムの7構築に向けた

8月：  
含

- ・林業口ボット開発の進捗状況

9月：  
・中標津町畜産食品セ

ンター視察

10月：  
・地震津波に関する協

議  
11月：  
・町内8カ所の緊急避

難場所視察（文教福

祉建設常任委員会と

合同）

（文教福祉建設）

1月：  
・標準高校への支援対

策等、公営住宅の今

後の使用方法

3月：  
・ひまわり温泉の利用

と施設維持管理の状

況、除排雪経費の執

行状況）

・地域包括ケアシステ

ムの7構築に向けた

8月：  
含

- ・林業口ボット開発の進捗状況

9月：  
・中標津町畜産食品セ

ンター視察

10月：  
・地震津波に関する協

議  
11月：  
・町内8カ所の緊急避

難場所視察（文教福

祉建設常任委員会と

合同）

（文教福祉建設）

1月：  
・標準高校への支援対

策等、公営住宅の今

後の使用方法

3月：  
・ひまわり温泉の利用

と施設維持管理の状

況、除排雪経費の執

行状況）

・地域包括ケアシステ

ムの7構築に向けた

8月：  
含

- ・林業口ボット開発の進捗状況

9月：  
・中標津町畜産食品セ

ンター視察

10月：  
・地震津波に関する協

議  
11月：  
・町内8カ所の緊急避

難場所視察（文教福

祉建設常任委員会と

合同）

（文教福祉建設）

1月：  
・標準高校への支援対

策等、公営住宅の今

後の使用方法

3月：  
・ひまわり温泉の利用

と施設維持管理の状

況、除排雪経費の執

行状況）

・地域包括ケアシステ

ムの7構築に向けた

8月：  
含

- ・林業口ボット開発の進捗状況

9月：  
・中標津町畜産食品セ

ンター視察

10月：  
・地震津波に関する協

議  
11月：  
・町内8カ所の緊急避

難場所視察（文教福

祉建設常任委員会と

合同）

（文教福祉建設）

1月：  
・標準高校への支援対

策等、公営住宅の今

後の使用方法

3月：  
・ひまわり温泉の利用

と施設維持管理の状

況、除排雪経費の執

行状況）

・地域包括ケアシステ

ムの7構築に向けた

8月：  
含

- ・林業口ボット開発の進捗状況

9月：  
・中標津町畜産食品セ

ンター視察

10月：  
・地震津波に関する協

議  
11月：  
・町内8カ所の緊急避

難場所視察（文教福

祉建設常任委員会と

合同）

（文教福祉建設）

1月：  
・標準高校への支援対

策等、公営住宅の今

後の使用方法

3月：  
・ひまわり温泉の利用

と施設維持管理の状

況、除排雪経費の執

行状況）

・地域包括ケアシステ

ムの7構築に向けた

8月：  
含

- ・林業口ボット開発の進捗状況

9月：  
・中標津町畜産食品セ

ンター視察

10月：  
・地震津波に関する協

議  
11月：  
・町内8カ所の緊急避

難場所視察（文教福

祉建設常任委員会と

合同）

（文教福祉建設）

1月：  
・標準高校への支援対

策等、公営住宅の今

後の使用方法

3月：  
・ひまわり温泉の利用

と施設維持管理の状

況、除排雪経費の執

行状況）

・地域包括ケアシステ

ムの7構築に向けた

8月：  
含

- ・林業口ボット開発の進捗状況

9月：  
・中標津町畜産食品セ

ンター視察

10月：  
・地震津波に関する協

議  
11月：  
・町内8カ所の緊急避

難場所視察（文教福

祉建設常任委員会と

合同）

（文教福祉建設）

1月：  
・標準高校への支援対

策等、公営住宅の今

後の使用方法

3月：  
・ひまわり温泉の利用

と施設維持管理の状

況、除排雪経費の執

行状況）

・地域包括ケアシステ

ムの7構築に向けた

8月：  
含

- ・林業口ボット開発の進捗状況

9月：  
・中標津町畜産食品セ

ンター視察

10月：  
・地震津波に関する協

議  
11月：  
・町内8カ所の緊急避

難場所視察（文教福

祉建設常任委員会と

合同）

（文教福祉建設）

1月：  
・標準高校への支援対

策等、公営住宅の今

後の使用方法

3月：  
・ひまわり温泉の利用

と施設維持管理の状

況、除排雪経費の執

行状況）

・地域包括ケアシステ

ムの7構築に向けた

8月：  
含

- ・林業口ボット開発の進捗状況

9月：  
・中標津町畜産食品セ

ンター視察

10月：  
・地震津波に関する協

議  
11月：  
・町内8カ所の緊急避

難場所視察（文教福

祉建設常任委員会と

合同）

（文教福祉建設）

1月：  
・標準高校への支援対

策等、公営住宅の今

後の使用方法

3月：  
・ひまわり温泉の利用

と施設維持管理の状

況、除排雪経費の執

行状況）

・地域包括ケアシステ

ムの7構築に向けた

8月：  
含

- ・林業口ボット開発の進捗状況

9月：  
・中標津町畜産食品セ

&lt;p

## 一般質問

一般質問とは、定例会において、各議員が住民を代表して、行政全般にわたり町執行機関の政策・方針を質す事です。  
単に疑問を晴らし、事実関係を明らかにするだけでなく、現行の政策を見直し、新規政策を提言する議員の重要な活動です。

# 町政のそこが聞きたい

◆令和7年第4回定例会(12月15日)で5議員が一般質問をしました。  
各議員の質問項目とその内容を要約して質問順に掲載します。

5 頁

### 吉田 智 議員

- 「関係人口」の創出・拡大に  
『ふるさと住民登録制度』への対応は？

▼質問中の5議員の様子



6 頁

### 南 憲 治 議員

- 「道の駅」構想を質す！



7 頁

### 藤本 靖 議員

- 早期に「道の駅」の検討を！  
● 「環境保全型かんがい排水事業」の導入を！



8 頁

### 石橋 昌 幸 議員

- 上下水道事業を質す！  
● 冬期を乗り越えるために！



9 頁

### 数間 景子 議員

- 「高齢者の足問題」の解決に向けて！





吉田 智 議員

問

「関係人口」の創出・拡大に

『ふるさと住民登録制度』への対応は？

答

本制度を有効活用するために

メリット・デメリットを把握検証していく

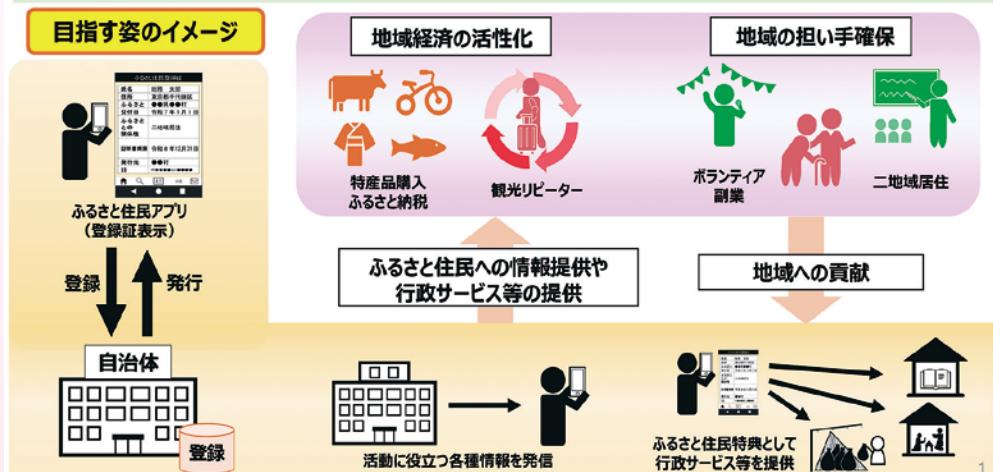
出典：総務省HP

「ふるさと住民登録制度」の創設について

図 版

【定住・交流・関係人口】

- 「地方創生2・0」の実現に向けた取組として、「関係人口」に着目し、住所地以外の地域に継続的に関わる方々を登録できる「ふるさと住民登録制度」の創設に向けて検討中。
- 「関係人口」の地域との関わり方には、消費活動等による地域経済への貢献や、ボランティアや仕事を通じた地域の担い手としての貢献など、それぞれのスタイルに応じた様々な形がある。
- できるだけ多くの方々に地域を応援していただけるよう、誰もがアプリで簡単・簡単に登録でき、また自治体の既存の取組を緩やかに包含できる柔軟かつ間口の広い仕組みの構築を目指す。



◆定住人口：その地域に住み、生活の拠点をしている人。  
 ◆交流人口：観光や出張などで一時的にその地域を訪れる人。  
 ◆関係人口：地域外に拠点を置きながらも、地域や地域の人と継続的に関わる「第3の人口」を指す。▼その地域が好きで頻繁に行き来する人▼その地域にルーツのある人▼過去に住んでいた・働いていた人▼その地に対しても強い思い入れがあり、地域づくりに参加する意志のある人々。

具体的な事業や戦略は本年度中に策定し、2026年度に運用開始予定となっている。「関係人口」が地域の担い手として、地方の持続可能性を支えるための制度的な枠組みを構築することが目的である。（図版 参照）

『ふるさと納税』が「お金を通した支援」であるのに対し本制度は「人との繋がりを起点とした関係性の構築」が主眼となっている。「関係人口」の創出・拡大に向け、本制度に対する対応を伺う。

総務省は、人口規模が縮小しても経済成長し、地方を元気にする事を主眼とした構想「地方創生2・0」の目玉政策として、「関係人口」を可視する「ふるさと住民登録制度」の創設を打ち出した。

本制度の地方自治体向けの説明会が11月末に開催されたところである。この制度化により関係人口が可視化され、都市と地方がより一層深く関係し、地域コミュニティの刺激となることを期する。

本制度を有効活用して行くために、メリット及びデメリットについて把握検証していく。

関係人口に関する本制度を所管する総務省では、移住した定住人口ではなく、観光に来た交流人口でもない。地域や地域の人々と多様に関わる人々を指すものとしている。地方圏は人口減少、高齢化により、地域づくりの担い手不足という課題に直面しており、関係人口がその担い手となることが期待されている。

問

総務省は、人口規

は、本制度を所管する総務省では、移住した定住人口ではなく、観

## 問 「道の駅」構想を質す！



## 南 壽治 議員

## 答 サーモンパークの「道の駅」の可能性を検討したい

きな決意を持つて取り組んでいくと述べている。

また、町長が目指す町の姿の一つとして力強い産業づくりを掲げ、観光の拠点施設として役割を担うべきところについて、標準化されたモデルパークについて

問 山口町長の「道の駅」構想についてであるが、令和7年7月3日開催の第3回標津町臨時議会において、一期目の町政運営に臨む山口町長は、所信表明の中での中で「決めるときは決める」という決断と挑戦を基本姿勢として方向性を示し、様々な行政課題を一つ一つ着実に解決するため、町政の運営に大



観光交流拠点のサーモンパーク

て、さらなる魅力向上を図り、地域活性化や観光振興につなげるため、道の駅登録を視野に検討を開始するとしている。

道の駅設置は、過去に道の駅設置に関する調査検討特別委員会における調査や議論の経緯があることを踏まえ町長の道の駅に対する具体的な考えを求める

地域経済の好循環を生み出す、また多様なニーズに応える拠点として、道の駅の可能性について採用の方向を見いだしていきたい。

問 平成27年9月に議会として調査特別委員会を設置し視察研修や検討を行い次のような報告がなされた。

観光交流拠点としてのサーキモン科学館

答 本町における道の駅の設置については、これまでにも検討と議論を重ねてきた。近年観光を取り巻く情勢は大きく変化しており、本町にとって再びこのテーマを改めて検討すべき時期にきている。

町議会による道の駅に関する調査特別委員会が設置され検討が行われた。それらの結果を踏まえ今後における

過や課題など、また現在の状況を踏まえモノパーク全体をどうしていくか本当に必要な施設なのかあるいは整備するとすれば、施設側の規模、機能は何か。検討も必要だと思う。地域経済の波及効果を最大限に引き出すものは何か踏まえモノパークの道の駅の登録について検討した

は、施設の充実を実施し、観光客の増加を図る。最たる課題は施設のリニューアルを考慮したサーモンパーク全体の短・中・長期整備計画と考える。

しかし、10年が経過し取巻く状況は当時よりも悪くなっていると思える。決断とチャレンジの目標を掲げた町長の考え方を再度伺う。

これまでの検討経



藤本 靖 議員

問

## 早期に「道の駅」の検討を！

答

## 登録できる判断材料を検討

問

先ほど南議員が道の駅について質問されたい。本年5月の新聞によるインタビューの中で、町長より道の駅についての言及があつた。サケ漁の不漁により標津市街地全体へのダメージはとても大きい。道の駅は、過去に何年も検討されてきた。町の商工業者を支援しながらこの事業を進めていく必要があるのではないか。

答

サー・モン・パーク以外の市街地で整備を求める声があり商工業振興上必要であることを真摯に受け止めている。その上で、現時点ではサーキュレーションパークでの道の駅の登録を検討を進めている。既存施設を有効活用することは、町の財政負担を抑えつつ、より早期に道の駅

登録により財政的かつ早期に登録できる判断材料と考えている。

問

## 「環境保全型かんがい排水事業」の導入を！

答

## 酪農家の意向を確認し検討したい

問

現在、別海町等で国土交通省による環境保全型かんがい排水事業が実施されている。開発局が、以前、調査をしているが当時は20%ほどの酪農家の賛成しか得られず見送つ



かんがい排水事業のスラリータンク  
釧路開発建設部提供

た経緯がある。今春、また過去にもスラリーの河川流入があり規模が大きくなっている酪農家の作業負担の軽減や漁業者側の安心の為にも標津町が間に入り再度、検討をすべきではないか。

答

平成27年に同事業に対し要望があり同年6月から釧路開発建設部、町、農協の三者で事業の採択に向けた協議を開始した経緯がある。この事業についての整備負担率は、国が80%道15%、地元5%そして、地元負担のうち、町の負担は2%と

なっている。

この事業は、農家の皆さんの意向が最優先されるべきものと判断をしている。今後様々な機会を活用して家畜糞尿処理施設のあり方について農家の意向と方向性を確認していく。

また来年度、第5期農業振興計画の策定を予定しておりアンケート調査等を実施し議論をしていきたい。

問

家畜糞尿処理、有効利用の問題について

は、これは重要で国の中等度等を活用し対策を考えいくべき。

答

これは本当に重要な課題であり酪農家の皆さんの理解を得ながら、今ある標津町の制度あるいは国の補助などの制度、それらを活用しながら今後に向けしっかりととした対策を検討していきたい。



## 問 上下水道事業を資す!

## 答 料金改定は避けられない検討課題

石橋 昌幸 議員

水道事業について  
当町の水は安くて安全  
で、美味しい水を供給  
していただいて本当に  
ありがたいなと思つて  
いる。

だが、気になるのは、  
単年度收支では黒字で  
あっても、人口減少や  
物価高騰もあって、経  
費を収益だけで賄うの  
は限界にきている。

上下水道は昭和50年から整備され50年経つものもあり、今後計画的な対応も必要であるこれらについて町長の答弁を願う。

答  
上下水道事業は住民に安心安全でかつ衛生的な水道水を供給し下水道を適切に処理することを目的に運営され、施設の維持管理や改築更新にかかる経費が必要になり、それは料金収入が中心的な財源となり支えている



## ウラップ川水源地

料金回収率は75・1%であり、他町と比べると高い水準であるが、人口減少や物価高騰の影響で今後10年間で低下すると推察され費用を収益で賄えることが難しくなるのはご指摘の通りであり、料金改定に向けて精査していくことはもちろんであり、基金のあり方についても検討していく余地はあると思つてゐる。

間 冬期を乗り越えるために!

## 答 福祉灯油の見直しを検討中

標津町は秋サケに  
より大きく栄えてきた  
が、今年は記録的な不  
漁となり、商店でも火  
の消えた状態になつて  
いる。そこに物価高騰  
が続いている、福祉灯  
油の助成基準が実態と  
あつていないのでは

また、福祉灯油の支給要件や限度額の見直し時期であると思っていい。

せていただくが、一般家庭や事業者含め広く支援が行き渡る上下水道の基本料減免や高齢者や低所得者、子育て世代の支援について既存事業の充当を検討し

経済対策を中心とした予算が成立され、地方に対する重点支援地方交付金が示されている。交付金額の決定はまだが、決定後改めて議会において予算提案さ

これらにどう対応するのか町長に聞きたい。  
**答** 漁業が置かれている状況は災害級と思っている。漁協と協議して対策していかねばならない。物価高騰では物価指数が毎年上昇しており、国において総合



数間 景子 議員

問

## 「高齢者の足問題」の解決に向けて!

答

### 令和8年度に国の補助を受け 具体的な検討に着手していく

ドア-TO-ドアのデマンドバスが運行されたが、利用者は少なく主要な施策の成果ではCの評価となり、利用されている方にとっては大変喜ばれている一方で現状に対して不満や不安の声がある。

警察署調べでは75歳以上の運転免許保有者は440人です、440人は運転に不安を感じながらも日常生活のため続けざるを得ない方達であると推測する。

一方でデマンドバスの登録者は45人に対し実際の利用者は8人と利用率は17・7%にとどまっている。

その要因としては限定的な運行時間や待ち時間の長さ、往復での利用を困難としていると思われる。



町内を運行するデマンドバス

7月に示された町政執行方針の中で高齢者が利用しやすい地域交通システムの構築とある。運転手不足も含め、これららの現状をどのように考えているか町長の見解を伺う。

答 従前からの循環バスの運行地域を三つのエリアに細分化をし、自宅でも乗り降り可能にし改善はしたが、エリアを分けた事で運行回数が減ったということになつているが、今年度から高齢者のサ้อน送迎などにサービスの充実化を図つてあり、ニーズに即したきめ細やかな対応が進み、利用者からは評価を受けているものと認識している。時間が合わず

ドア-TO-ドアの評価となり、利用されている方にとっては大変喜ばれている一方で現状に対して不満や不安の声がある。

警察署調べでは75歳以上の運転免許保有者は440人です、440人は運転に不安を感じながらも日常生活のため続けざるを得ない方達であると推測する。

答 従前からの循環バスの運行地域を三つのエリアに細分化をし、自宅でも乗り降り可能にし改善はしたが、エリアを分けた事で運行回数が減ったということになつているが、今年度から高齢者のサ้อน送迎などにサービスの充実化を図つてあり、ニーズに即したきめ細やかな対応が進み、利用者からは評価を受けているものと認識している。

警察署調べでは75歳以上の運転免許保有者は440人です、440人は運転に不安を感じながらも日常生活のため続けざるを得ない方達であると推測する。

これら課題解決に向け、持続可能な交通対策について特に高齢者の福祉サービス、児童

福祉サービス、児童

7月に示された町政執行方針の中で高齢者が利用しやすい地域交通システムの構築とある。運転手不足も含め、これららの現状をどのように考えているか町長の見解を伺う。

答 従前からの循環バスの運行地域を三つのエリアに細分化をし、自宅でも乗り降り可能にし改善はしたが、エリアを分けた事で運行回数が減ったということになつているが、今年度から高齢者のサ้อน送迎などにサービスの充実化を図つてあり、ニーズに即したきめ細やかな対応が進み、利用者からは評価を受けているものと認識している。

これら課題解決に向け、持続可能な交通対策について特に高齢者の福祉サービス、児童

福祉サービス、児童

使いづらいと感じている方があるとは思うが、現実問題として委託しているバス事業者が運行可能な1往復で走っているわけである。都市圏でも運転手確保には苦労しており、人口減少が進む地域では一層困難な時代になつている。

市圏でも運転手確保には苦労しており、人口減少が進む地域では一層困難な時代になつている。

これら課題解決に向け、持続可能な交通対策について特に高齢者の福祉サービス、児童

福祉サービス、児童

これまでに運行見直しや試行運転を行い、多くのことがわかつてきた。

高齢者の皆さんがどこに困っているか、有償ボランティアという方法もあるし、運転手確保が難しい状況であるが、それに代わる何かを含めて検討調査をしていく。

# 常任委員会の動き

## 常任委員会とは…

地方議会において特定の行政事務分野ごとに常時設置されている専門的な委員会。  
本会議で審議される議案や請願・陳情などを専門的に調査・審査し、町の事務に関する事務の調査も行う。  
議員はいずれかの常任委員会に所属し、審査した結果は本会議に報告され、議会の意思決定となる。

標津町の特産品製造施設としての機能も持ち合わせており、製造体験が休みの日には、ゴーテーチーズ、ソーセージ等の製品を製造し、中標津町のふるさと納税の返礼品、中標津空港などの観光施設で製品の販売が



畜産食品加工研修センター視察の様子

外の誰でもが利用できる施設とし町営で運営されている。(要予約)  
一般の人々がチーズ、ソーセージ等の製品を作り体験施設としての機能だけではなく、中

視察当日は、標準町の方々が施設でチーズ作りを利用しており、当町においても町民が利用出来る施設として必要であると考えさせられた。センターの運営は、すべて町営となつており、職員は町職員であり、センターの運営に当たつていた。

中には施設の利用案を示したい」と答弁していました。

同施設は高齢者の体力づくりなどを目的に平成9年に建設。これまで屋内ゲートボール場として、ゲートボール協会が利用。しかし、会員減により、協会が解散し、令和6年3月から施設を使用しないことになつた。

視察では、担当から

◆第9回・10月20日ス  
ポーツハウスの利活用  
視察（一般質問検証）  
本件は、令和5年第  
4回定例会（12月13日  
開催）で山崎陸郎議員  
が、保健福祉センター  
ひまわりに併設されて  
いるスポーツハウスの  
有効活用について一般  
質問したもの。  
町長は「令和6年度

野球やサッカーなど雨天時時や冬期間活用では、床を人工芝に、防球ネット設置、ガラス張り屋根をガリバリウム鋼板にするなど改修費に約7800万円がかかりことから難しい。委員からは「多額の改修費をかけるのではなく、広く町民の声を聞く中で有効活用を検討していくべき」などと意見が交わされた。

A group of six people, including men in suits and a woman in a business suit, are standing in a large, modern sports hall. The hall features a high ceiling with exposed steel beams and large glass windows. The group is engaged in a discussion, with one man on the right gesturing towards the ceiling. The floor is a polished concrete.

◆第9回・9月26日  
中標津町畜産食品加工  
研修センター視察

されている。

◆第9回・10月20日ス  
ポーツハウスの利活用  
視察（一般質問検証）  
本件は、令和5年第  
4回定例会（12月13日  
開催）で山崎陸郎議員  
が、保健福祉センター  
ひまわりに併設されて  
いるスポーツハウスの  
有効活用について一般  
質問したもの。  
町長は「令和6年度



## スポーツハウス視察の様子

## 総務 経済

## 文教 福祉

## 建設

# 両委員会で緊急避難場所を視察・検証（11月26日）

7月30日に発生したカムチャツカ沖地震による「津波警報」により当町でも市街地住民に対して避難指示が出された。市街地に住む多くの住民が指定された避難場所で待機していた。



標高17.1メートルのベキシリ山緊急避難場所を視察する議員連

ている場所が適切だつたのかどうかを確認するため、議員全員で避難場所へ出向き、場所の確認と課題について検証した。

ベキシリ山、望ヶ丘公園、茶志骨神社、薫別神社までの海岸線沿い8カ所を回り避難場所の確認を行った。

その後、避難場所に関する合同委員会を開催し、各議員からの意見聴取を行った結果、避難場所状況の駐車スペースの少なさ、また管理の不十分が指摘さ

れた。例として望ヶ丘公園に以前あつた階段が無くなっている、また古多糠地区では、避難場所が未整備であることが両委員会の所見。

両委員会として、次

回は町側からの聞き取りを行い、今後、予想される千島海構沖地震に備えて行く必要があるため、委員会からの提言を町側に示していく予定となっている。

### ◎避難場所の問題点は次の通り（抜粋）

◆ベキシリ山：旧テニスコートの自動車誘導マーク（地面）が消えかかっており、塗り直しが必要。また災害時の自衛隊舎内への避難が出来るよう協定等の提携が急務。高校サッカー場も避難場所として利用出来るよう標準

高校（北海道）と再協議が必要。

◆望ヶ丘公園：駐車場が狭く止められる台数が少なすぎるため拡張が求められる。町道から徒歩で登ることが出来た階段が朽ち果てているため再整備が必要。避難者も利用できるトイレの再整備も検討する必要がある。

◆茶志骨神社：町民だけではなく観光客、町外者の避難もあるため駐車場の拡張、また町道への出入りが出来るるため、駐車場の新設が指定されている家が狭いため駐車場の新設拡張が必要。

◆忠類地区：避難場所に指定されている家が狭いため駐車場の新設拡張が必要。

◆薰別地区：避難の体を為さず。

◆古多糠地区：避難の拡充が必要。

今後、検討し、提案していく予定。

# 議員研修会

## 令和7年度 根室町村議会議長会主催 議員研修会

日時：10月24日(金) 午後2時30分～  
会場：中標津経済センター 2F「コミュニティホール」

◆議会活動の活性化と議員の資質向上を目的として研修会を開催

主催者を代表し後藤  
一男会長（中標津町）  
のあいさつの後、10年  
以上議員の職に当たる  
議員4名に対し、自治  
功労者表彰が行われた。  
【令和7年度  
自治功労表彰者】



あいさつをする後藤会長

10月24日、根室町村  
議会議長会主催の議員  
研修会が、中標津町に  
て開催され、関係者56  
名が参加。当議会より  
議員10名、事務局員2  
名の計12名が参加。

根室町村議会議長会主催議員研修会  
中標津町で開催 議員・事務局員56名参加



表彰状を手にする  
(右から)外山・小椋・山崎議員

◇外山 浩司 [別海町議会]  
◇小椋 哲也 [標津町議会]  
◇山崎 英司 [羅臼町議会]  
◇加藤 勉 [議員]  
(当日欠席)  
議員

講 師  
全国町村議会議長会  
議事調査部長  
飯田 厚 氏

## 【演 題】 町村議会の課題に 対する本会の取組

講 演

▼表彰式終了後、全国  
町村議会議長会の議事  
調査部長の飯田厚講師  
による講演が行われた。  
講師は議長会が取り組  
んでいる町村会議の課  
題を詳細に解説され  
た。

①議員のなり手不足対  
策検討会報告書  
②議員報酬の適正化  
③地方議會議員の厚生  
年金への加入  
④休暇・休職・復職制  
度の整備  
⑤主権者教育の推進  
⑥政治分野の男女共同  
参画の推進  
⑦議会のデジタル化の  
推進



講演中の飯田講師

# 根室林活議連協議会

10月17日

～別海町にて研修会開催～

【演題1】「森林の生態系と森林の利活用事例について」

【演題2】「山しごとのおきてと『山の神』について」

【講師】森林インストラクター  
大山 重治 氏

大山講師は、長い林業経験を基に、上記の2つの演題に関して講演され、その後、質疑応答を行った。当議会より5議員が出席した。



根室地方森林・林業・林産業活性化推進議員連盟協議会の令和7年度の研修会が、別海町生涯学習センター「みなくる」にて開催された。参加した根室管内1市4町の50名の議員は、森林インストラクター大山重治氏の講演を拝聴した。

令和7年10月17日、

## 根室地方森林・林業・林産業活性化推進議員連盟協議会 (略称)根室林活議連協議会

### 目的

根室地方の森林・林業・林産業の活性化と山村振興並びに森林のもつ公益的機能の維持向上のための、情報交換と必要な事項について調査・検討し、森林整備と林業・林産業活性化及び山村振興に寄与することを目的とする。

### 組織

根室地方の1市4町議会で結成された森林・林業・林産業活性化推進議員連盟等をもって組織する。

11月18日、根室振興局中標津合同庁舎の新庁舎が完成し、関係者向けの内覧会が開催された。町内に点在していた4機関の機能を1箇所に集約し、順次に移転し、供用を開始する予定である。



中標津合同庁舎の新庁舎の外観

府には中標津保健所、根室農業改良普及センター、北根室支所、中標津社会福祉事務出張所、釧路建設管理部中標津出張所が入る。この日は地元の関係者38名が出席。当議会より吉田副議長が出席。



根釧地域の木材をふんだんに使用した新合同庁舎内部のエントランスホール

根室振興局中標津合同庁舎  
新庁舎内覧会開催

◆日時…令和7年11月18日

## 老朽化する教育関連施設への対応

# 標津小・中学校、総合体育館など 複合施設として建設検討



複合施設として建設が検討されている  
①標津小学校 ②標津中学校  
③総合体育館 ④学校給食センター  
⑤町営プール ⑥キラリ児童館

### 〈建設検討施設の建築年度一覧表〉

| 施設名        | 建築年度  | 築年数 |
|------------|-------|-----|
| ① 標津小学校    | 昭和44年 | 56年 |
| ② 標津中学校    | //    | //  |
| ③ 総合体育館    | 昭和51年 | 49年 |
| ④ 学校給食センター | 平成5年  | 32年 |
| ⑤ 町営プール    | 昭和55年 | 45年 |
| ⑥ キラリ児童館   | 平成12年 | 25年 |

食センター、⑤町営プール、⑥キラリ児童館の6施設。建設予定地は津波浸水域外の現在、町営球場と鳩ヶ丘体育館がある場所。議会としては、町づくりに関わる重要な案件になることから、町民の声を拝聴しながら慎重に対応していく。

▽ 第1回検討委員会出席（文教福祉建設常任委員長・副委員長）  
▽ 第2回検討委員会（令和6年3月）

施設等整備の基本構  
想・計画委託料、敷  
地確定測量

▽施設整備の基本構想・計画委託業務等。

(書面会議)  
(合口)三

四

## 議会の対応状況

(令和6年6月)

## 「標津町小中学校体 合同常任委員会で

## 進捗状況の説明（田教委）を受ける

育施設整備検討委員会設置」の説明を町

▽第3回検討委員会出  
(令和7年6月)

(令和7年7月) 席

- ・施設等整備の基本構想・計画委託料、敷地確定測量
- ▽施設整備の基本構想・計画委託業務プロポーザル（企画競争入札）選定委員会出席（文教福祉建設常任委員長）  
(令和7年10月)
- ▽第4回検討委員会出席
- ▽第5回検討委員会出席
- （令和8年1月）

## 議会の動向 (令和7年9月10日～令和7年12月14日)

| 期日      | 会議及び行事                   | 出席者     |
|---------|--------------------------|---------|
| 9月10日   | 第3回標津町議会定例会              | 議員 9人   |
| 11日     | 第3回標津町議会定例会              | 議員 10人  |
| //      | 広報特別委員会                  | 委員 4人   |
| 12日     | 決算審査特別委員会                | 委員 8人   |
| //      | 札幌標津会総会（札幌市）             | 議長代理 1人 |
| 16日     | 決算審査特別委員会                | 委員 8人   |
| 18日     | 決算審査特別委員会総括質疑            | 委員 8人   |
| //      | 第3回標津町議会定例会              | 議員 10人  |
| 25日     | 文教福祉建設常任委員会              | 委員 6人   |
| 26日     | 総務経済常任委員会（中標津町他）         | 委員 6人   |
| 29日     | 第4回標津町議会臨時会              | 議員 10人  |
| 10月7～8日 | 久留米大学医学部表敬訪問（福岡県）        | 議長      |
| 9日      | 広報特別委員会                  | 委員 4人   |
| 16日     | 広報特別委員会                  | 委員 4人   |
| 17日     | 根室林活議連協議会研修会             | 議員 5人   |
| 20日     | 文教福祉建設常任委員会              | 委員 5人   |
| //      | 総務経済常任委員会                | 委員 6人   |
| 21日     | 茨城県日立市議会行政視察             | 議長      |
| 24日     | 根室町村議会議長会議員研修会（中標津町）     | 議員 10人  |
| 11月8日   | 黄川田内閣府特命担当大臣との懇談会（根室市）   | 議長      |
| 12日     | 第68回町村議会議長全国大会（東京都）      | 議長      |
| 13日     | 根室町村議会議長会道外視察研修（岩手県）     | 議長      |
| 18日     | 根室振興局中標津合同庁舎内覧会（中標津町）    | 副議長     |
| 17日     | 全国過疎連盟第60回総会（東京都）        | 議長      |
| 22日     | 東京標津会（東京都）               | 議長他 1人  |
| 26日     | 文教福祉建設常任委員会              | 委員 6人   |
| //      | 両常任委員会町内視察               | 議員 10人  |
| 27日     | 令和7年度標津町表彰式              | 議長他     |
| //      | 議会運営委員会                  | 議長、委員5人 |
| 28日     | 中標津町外2町葬斎組合議会定例会（中標津町）   | 議長他     |
| //      | 根室北部消防事務組合議会定例会（中標津町）    | 議長他     |
| //      | 根室北部廃棄物処理広域連合議会定例会（中標津町） | 議長他     |
| //      | 根室北部衛生組合議会定例会（中標津町）      | 議長他     |
| 12月1日   | 合同常任委員会                  | 議員 8人   |
| //      | 北方領土返還要求中央アピール行動（東京都）    | 議長      |
| 2日      | 両常任委員会                   | 議員 8人   |
| 9日      | 町内団体長交流懇話会               | 議長他     |
| 11日     | 全員協議会                    | 議員 10人  |

